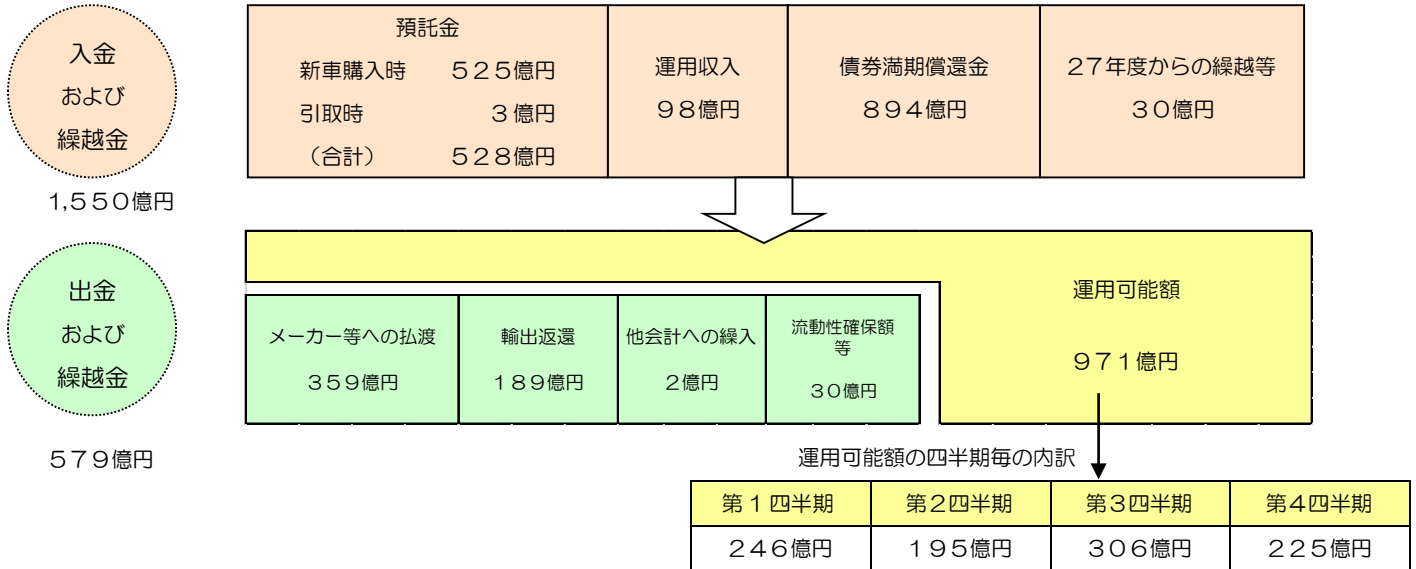


平成28年度再資源化預託金等運用計画

平成28年度（平成28年4月～平成29年3月末まで）の資金管理人での入金と出金の予想額は次のようになります。その結果、運用可能額は971億円と見込みます。

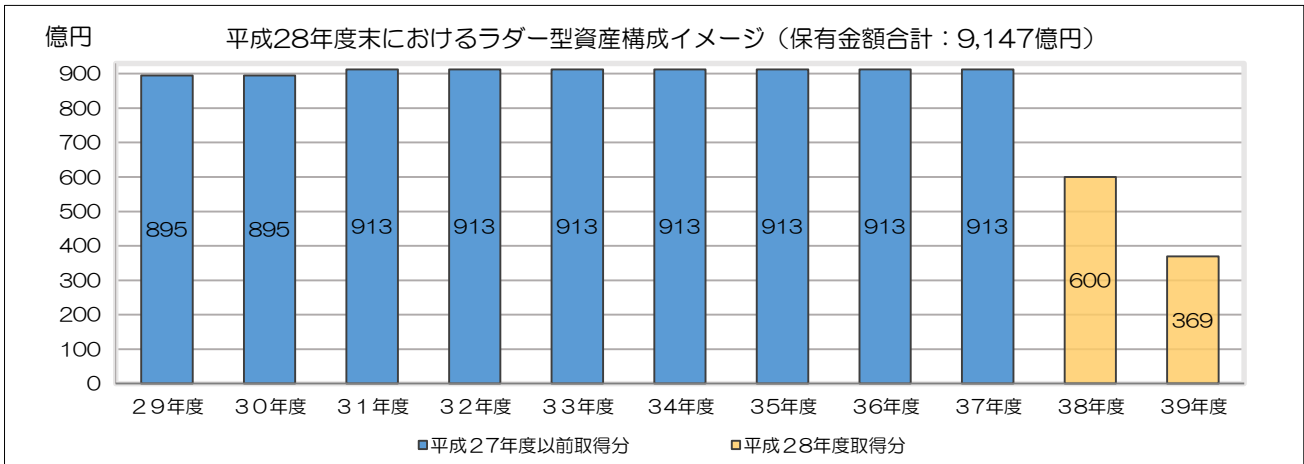


この資金を次のように運用する計画です。

新規運用額の使途 (単位：億円)

| | |
|--------|---------|
| 新規債券取得 | 969 |
| 国債 | 484～969 |
| 政府保証債 | 0～489 |
| 経過利息支払 | 2 |

政府保証債の取得額については、国債の取得額を超えないものとします。



平成28年度の運用より、新規に取得する年度の残高を額面600億円程度とし、投資期間を10年から延伸します。平成28年度は、既に600億円以上の残高を保有する2年～9年の各年限の債券については取得せず、先ず10年限に600億円、残りの369億円を11年限の債券取得に充てます。(*1)

取得対象の債券の金利がマイナスとなった場合の対応

運用の基本方針の元本確保の前提に則り、マイナス金利の債券は取得しません。仮に取得対象年限の債券の金利がマイナスとなった場合は、未取得額は定期預金等にて管理し、金利がプラスになり次第、債券の取得を行うこととします。なお、マイナス金利を含む低金利時における再資源化預託金等の資金運用の在り方については、平成28年度に改めて整理検討し、その結論が出次第、その方針に基づいて運用を行います。

*1 第64回（平成27年12月7日開催）の資金管理業務諮問委員会にて承認済み。

※ 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

※ 詳細は「資金管理業務諮問委員会の報告 第65回（平成28年2月25日開催）資料7-1」をご参照ください。